



ADRC Highlights

Vol.47

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

May 16, 2002

➤ ADRC が ISDR タスクフォース会合に参加

4月25日から26日、国連ジュネーブ本部で、ISDR（国際防災戦略）の第5回 inter-agency task force meeting（評議委員会）が開催され、所長の西川が出席いたしました。



この ISDR タスクフォースは、国連専門機関 10、地域国際機関 8、学会及び NGO 5 の合計 23 組織の代表で構成され、議長は大島賢三人道問題担当国連事務次長です。その任務は、

- ① 国連システムとしての自然災害にかかる政策の討議
- ② 防災のためのプログラムの提言
- ③ ISDR 事務局への助言
- ④ 防災にかかる特定テーマ別専門家会合を開催することとなっています。

今回の会合からは、地域国際機関ではアジア防災センターとラテンアメリカ市民防衛協会の 2 機関が、国連専門機関では WHO と UN-HABITAT が、学会及び NGO ではドイツの世界火災監視センターが新規にメンバーとなりました。

今回の会議では、これまでの特定テーマ別専門家会合の中間報告、日本政府と ADRC の支援により編集作業が進められている「世界防災白書」の概要、8 月末にヨハネスブルグで開催される「持続的発展のための世界サミット会合、WSSD」への防災の観点からの政策提言、1994 年の国際防災の 10 年横浜会議から 2004 年で 10 年経過することに鑑み、この 10 年間での防災分野の進展を Yokohama+10 としてレビューしていくことなどが討議されました。

アジア防災センターは、メンバー国の ISDR の担当部局への周知、世界災害統一ナンバー制度(GLIDE)の推進、防災にかかる多国語専門用語集(Mutli-Language Glossary)の提供など、ISDR 事務局と協力してアジアでの活動を推進することを表明しました。

ISDR について詳しくは<http://www.unisdr.org/>を御覧下さい。

➤ 人と防災未来センター開設記念シンポジウム

本誌第 45 号でご紹介しました「人と防災未来センター (Disaster Reduction and Human Renovation Institution, DRI)」が 4 月 27 日、神戸にオープンしました。オープニングに先立って、開設記念シンポジウムが「これからの災害に備えて～人と防災未来センターへの期待」というテーマのもと下記

のプログラムで開催されました。

基調講演

「人と防災未来センターの活動内容」

河田恵昭（センター長、京都大学防災研究所巨大災害研究センター長）

「カリフォルニアの災害対策」

ケニス・タッピング（京都大学客員研究員）

パネルディスカッション「人と防災未来センターへの期待」

コーディネーター：河田恵昭

パネリスト：室崎 益輝（神戸大学都市安全研究センター教授）、水上淳二（内閣府参事官）、田邊義博（静岡県防災局長）、渡辺千明（秋田県立大学研究員）、ケニス・タッピング

講演では、河田センター長が、今後のセンターの活動として予定されている、地方自治体行政職向け災害管理研修、地方自治体の防災計画策定の相談受付、JICA 研修などの実施について紹介を行いました。

また、ケニス・タッピング氏は、カリフォルニアでは地震予知を前提とせず、地震発生後の減災実現に重点を置いた災害対策を採っていることを紹介しました。さらに、標準化された災害管理機構（SEMS：Standardized Emergency Management System）の運営事例を紹介し、標準化された機構を州、郡、市などそれぞれの行政単位で階層的に運営し効率のよい危機管理を行う必要性について説明しました。

パネルディスカッションでは、まずこれまでの災害事例から科学技術による解明の成果が市民に十分伝えられていなかったために被害が拡大した点が問題提起されました。防災には行政と市民のパートナーシップが欠かせないこと、市民への情報の伝達が重要であること、また今後の災害予想から市町村レベルの自主防災の活発化が必要であること、そのためにも地方自治体の意識改革が必要であることなどが話し合われました。

➤ アジアにおける最新災害情報

□ バングラデシュで嵐による被害発生

バングラデシュの首都ダッカ南方 170km のシャトナル付近で、5 月 3 日午前零時頃（現地時間）、大勢の乗客を乗せて川を航行中だったフェリー「M. V. サラフディン 2」が嵐のため沈没し、369 名が死亡、100 名以上が行方不明になっています。バングラデシュでは 4 月下旬から 5 月にかけて各地で嵐による被害が出ています。（5/11 ロイターニュース他）

□ キルギスタンで地すべり発生

キルギスタンで、5 月 2 日、豪雨により地滑りが発生。数百の家屋が倒壊した。さらに地方の鉄道網も崩壊し、19 の村が鉄道を利用できない状態になっている。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル 3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行（予定）